

概要: 「地震時等に著しく危険な密集市街地」である中須賀町において、土地区画整理事業により密集市街地の改善を図り、安全・安心な市街地を形成。

対策名: 10 災害に強い市街地形成に関する対策<5か年加速化対策>【国土交通省】

- 実施主体: 高知市
- 実施場所: 高知県高知市
- 事業概要: 住生活基本計画に基づく「地震時等に著しく危険な密集市街地」である中須賀町は、戦前からの古い木造住宅が密集し狭い道路が多く、地震による家屋の倒壊、火災発生時の延焼による被害拡大に加え、地区住民の避難や消火活動等が困難になるなど防災性の向上が重要な課題であることから、街区の再編による密集状態の解消等を行う土地区画整理事業を実施し、安全・安心な市街地8.1haの一体整備を行っている。
- 事業費: 約121億円(平成26年度～令和11年度)  
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約1.9億円)
- 効果見込み: 南海トラフ地震等による被害が想定されることから、道路整備による避難路の確保や緊急車両のアクセス性向上、地区住民の意向を踏まえて地区中央に集約配置した公園による一時的な避難場所機能等により、安全・安心な市街地を形成を行っている。  
これにより、全国約2,220ha、高知市内では約18haある「地震時等に著しく危険な密集市街地」のうち、8.1haが令和11年度までに解消予定。  
⇒事業開始前の建物488棟、人口822人の危険性を解消  
加えて、事業の間接的な効果として、緊急車両のアクセス性向上により、周辺地域の安全性も向上が見込まれる。

